

東日本大震災・福島第一原発事故の記録

1 東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)9.0の地震が発生、突然の激しい揺れがここ塩野川地区にも襲い掛かる。東日本太平洋側の長い海岸線全域にわたって巨大な津波が押し寄せて壊滅的な大災害を引き起こした。伊達市の震度は6弱。家屋の崩壊、屋根瓦の落下、ブロック塀の倒壊、路面の陥没や崩壊により通行遮断があちこちに起こり大混乱に陥った。市全域の上水道が断水、梁川総合支所前の給水所も給水を待つ長い長い行列ができた。水道、電気が使えない状況の中で人々は食料品や日用品の買出しに走り回った。地元のスーパーだけでなく他町に開いている店があれば出かけて行き行列に並んだ。

これらの行動に追い打ちをかけたのが深刻なガソリン不足であった。ガソリンスタンドでは給油を待つ車の長い行列ができた。やっと給油ができた場合でも、1台あたりの給油数量や金額に制限が設けられ、一般車両のガソリン入手は困難を極めた。

電気も梁川地区は停電が1週間ほど続いた。交通機関の被害も大きく、阿武隈急行線の不通、鉄道の不通などが続いたが、代わりに福島交通のバス路線がその代替交通として活躍した。

被害は学校施設にも及び、梁川小学校は校舎、体育館とも使用不能となり梁川中学校と梁川高校での分散授業を余儀なくされ

た。地元の梁川亀岡八幡宮も被災し、鳥居と太鼓橋が倒壊した。また鬼石観音堂の三十三観音像が損傷するなど人々が心のよりどころとする文化財にも被害が及んだ。



ガソリンを買い求める人達

2 福島第一原発事故

(1) 放射性物質の飛散

東日本大震災発生後、東京電力福島第一原子力発電所を津波が襲う。電源が失われたことで原子炉は冷却機能を喪失、核燃料が溶け出す炉心溶融が始まる。

避難指示が第一原発から半径3km以内、そして半径10kmに拡大。12日、1号機で水素爆発、14日には3号機、15日には2号機が相次いで爆発。これにより県外、県内への避難が始まり、長い厳しい放射能との闘いが続く事になる。

事故当初国は放射性物質の拡散を公表しなかった。3月23日に至ってSPEEDIにより、福島第一原発から北西方面に放射能汚染が拡大していることが初めて公表された。伊達市にも大量の放射性物質がおりしも北西の風に乗って降り注いだことがわかった。これにより市はこれまで経験したことのない原子力災害に対して独自に試行錯誤の対策を行うこととなる。

(2) 放射能と塩野川町内会の取組み

イ 第44回塩野川町内会総会

(平成23年4月10日)

大地震の被害に遭われた方、福島原発事故の予断を許さない危機的状況のもとで総会の日程をどうするか、役員会・理事会で話し合いを持ち、総会は実施し、総会後の懇親会を自粛という結論に至り予定通り総会を実施する。

ロ 町内放射線量測定

(平成23年5月28日)

塩野川会館をはじめ町内の主要な場所10か所の空間放射線量を測定。最低値0.34 $\mu\text{Sv/h}$ 最高値0.58 $\mu\text{Sv/h}$ 平均値0.45 $\mu\text{Sv/h}$ 塩野川会館は0.43 $\mu\text{Sv/h}$

ハ 町内放射線量測定

(平成23年7月10日)

5月28日に測定した場所を中心に14か所の空間放射線量を測定。最低値0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 最高値0.80 $\mu\text{Sv/h}$ 平均値0.45 $\mu\text{Sv/h}$ 塩野川会館は0.31 $\mu\text{Sv/h}$

ニ 放射線のおはなし会開催

(平成23年7月14日)

塩野川町内会、にこにこ会、塩野川婦人会、子供会育成会の共催により放射能についての講演会を開催する。講師に元県立高校教師の菅野幸雄先生を迎えて放射能の基礎知識など全般にわたって話を聞く。60名の出席者があり、質問も多く寄せられた。

ホ 塩野川町内会環境放射能測定

(平成23年7月19日集計)

町内会会員からの測定希望箇所を各組ごとに計測する。都合の良い日に1組から11組まで各組ごとに実施する。

玄関前は舗装、土・砂利、芝の3種類に分けて測定、その他に畑や空地、排水溝、雨水溜り、堤防を測定する。測定箇所は玄関前が104箇所、その他畑や空地、排水溝、雨水溜り、堤防は会員が希望された箇所を測定する。

それぞれ最低・最高・平均値を表にあらわし、コメントを記した測定結果を全戸に配布する。

ヘ 町内会芋煮会

(平成23年10月10日)

会場となる「希望ヶ丘西公園」の空間放射線量を事前に測定。テント設営場所、芋煮鍋設置場所、テーブル席などの線量を町内に周知して芋煮会を実施する。

ト 放射線量測定器の配布

(平成24年4月)

伊達市より各町内会に貸与された測定器を各組に配布。貸与測定器9個で各組にて全戸計測し(一次モニタリング調査)、調査票を回収、後日市に提出する。

チ 第2回放射線のおはなし会

(平成25年7月28日)

23年7月の講演会から2年が経過し、「放射線は今？」～2年間の変遷をめぐって～の演題で菅野幸雄先生の講演会を実施する。

リ Cエリア二次モニタリング・

除染の実施

(平成25年8月)

放射線量測定、除染申込書兼同意書を全戸に組長を通じて配布、取りまとめを行う。申込戸数118戸、辞退戸数33戸、未提出戸数13戸。

ヌ Cエリアの除染に関する調査

(平成26年1月)

組長を通じて全戸に調査票を配布、取り

まとめて市へ提出。市は除染調査票に基づき、フォローアップ除染など個別に対応。



◆放射線のおはなし会
十四日、伊達市梁川町の塩野川会館で開いた。塩野川町内会(菊地新一会長)の主催で、町内にここに会、婦人会、子

供育成会の共催。約六十人が訪れた。元高校教諭の菅野幸雄さんを講師に、放射線の種類などの基礎知識から身体的な影響まで詳しく講演を聞いた。写真。身近に感じている不安や疑問についての質問も出され、参加者は約二時間にわたり熱心に勉強していた。



放射線のおはなし会 (平成23年7月14日)